

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

1月のアルミ概況及び2月の見通し (1)

予想レンジ

LME現物後場買い 2,900-3,100ドル

スクラップ 0円~+10円

(前月最終価格より)

為替 110-115円

変わらず

(1か月間TTM)

■国際概況

前半は米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録を受けたドル高観測やオミクロン株の新規感染が拡大し、米国の1日あたりの感染者数が100万人を突破した。

などのマイナス材料もあったが、エネルギーコスト高による供給懸念、電力不足に陥る可能性や生産コストの上昇に対する警戒感が強まりを好感しUP。

1月15日時点で2977.5ドル(セツル)と月初価格から177.5ドルUPの前半締めとなった。

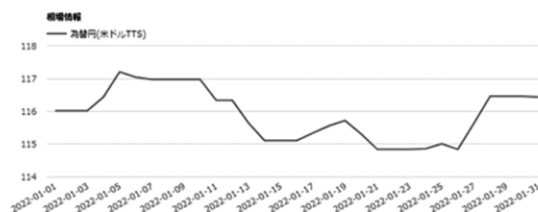
後半は25~26日にかけて開催される公開市場委員会(FOMC)を控え、早期金融引き締め懸念が高まったことなどのマイナス材料あったがロシア・ウクライナ間の緊張の高まるな、か対ロシア経済制裁による供給不安やLME在庫大幅減少などを好感しUP。

1月末日現在、後半スタート価格から101ドルUPの3,110ドル。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート(TTS)

116.02→116.44(円)



出典 MIRU

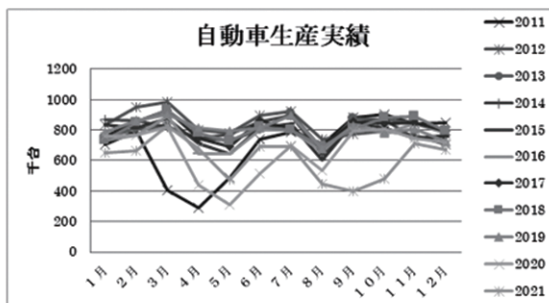
【国内指標】

◆自動車生産台数

生産動態統計によると12月の自動車生産台数は前年比-6.8%の66万9,521台。輸出は+0.5%。

	10月	11月	12月
生産台数	48万1630台	71万2061台	66万9521台
前年比	-40.4%	-4.7%	-6.8%

自動車生産台数



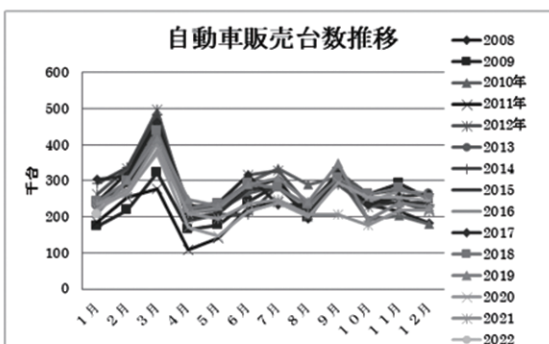
出典 生産動態統計

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると1月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-12.5%の20万7,123台。

	11月	12月	1月
販売台数	21万9276台	21万8782台	20万7123台
前年比	+4.4%	-10.2%	-12.5%

自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協会連合会

【住宅着工戸数】

12月の新設住宅着工は、持家は減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比4.2%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比1.5%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は68,393戸。前年同月比4.2%増、10か月連続の増加。

○新設住宅着工床面積は5,702千㎡。前年同月比5.9%増、9か月連続の増加。

○季節調整済年率換算値では838千戸。前月比1.5%減、2か月連続の減少。

	10月	11月	12月
新設住宅着工数	7万8004戸	7万3414戸	6万8393戸
前年比	+10.4%	+3.7%	+4.2%

(次号へ続く)

日刊金属

外電配信料
(税込)

6ヵ月:46,200円

12ヵ月:92,400円

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属屑

株式会社 原田商店

代表取締役 原田 靖章

〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30

TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128